

# 目 次

はじめに

1.	JSCE2010 策定方針と策定プロセス	1
1. 1	経緯	1
1. 2	計画目標年次と計画期間	2
1. 3	策定方針	2
1. 4	策定プロセス	2
2.	JSCE2010 策定に当たっての現状認識と土木学会としての重点課題	4
2. 1	現状認識	4
2. 2	土木界、土木技術者の重点課題	7
2. 3	土木学会としての重点課題	7
2. 4	JSCE2010 重点目標	9
(1)	地球温暖化対策等分野横断的、総合的課題解決への積極的取り組み	9
(2)	公正な立場からの専門的知見の提供	9
(3)	技術者支援	9
(4)	学会運営の適正化・効率化と分かりやすさの向上	9
3.	JSCE2010	10
3. 1	土木学会の3つの使命と具備すべき9つの機能	10
3. 2	学術・技術の進歩への貢献	11
a)	学術・技術の先端性	11
b)	学術・技術の事業への展開性	14
c)	技術蓄積・移転性	15
3. 3	国内・国際社会に対する責任・活動	16
d)	公正な立場からの専門的知見の提供	16
e)	国際貢献	19
f)	コミュニケーション機能	20
3. 4	技術者資質と顧客満足度（CS）の向上	21
g)	技術者支援	21
h)	情報取得機会の拡大	22
i)	学会運営の適正化・効率化	23
	JSCE2010 一覧表	25
	おわりに 一次期計画策定に向けて	27
	平成19年度運営会議名簿、平成19年度企画委員会名簿、土木学会機構図	28
	参考資料1：土木学会「見える化」データ	31
	参考資料2：土木技術者・土木学会に対する外部ヒアリング結果要旨	45
	参考資料3：JSCE2005 各部門自己評価結果	51